

社会を明るくするために…

浦安市立日の出中学校1年 大平 美空

明るい社会にするためには、何が必要なのだろう。正直、このテーマで作文を書こうと決めてもあまり思いつきませんでした。ですが、明るい社会とはみんなが笑顔あふれる社会のことと同じなんじゃないか、と思いました。笑顔あふれる社会にするために私たちが簡単にできること。一つ目は身の回りの人たちに挨拶をすることだと考えました。挨拶をすることによってみんなとコミュニケーションをとることができると思うし、挨拶をした側もされた側も笑顔になれると思います。

私の通っていた小学校の校長先生は、一日に一回は必ず「ありがとう」を言おう。と言っていました。ありがとうも挨拶の一つです。校長先生はクラスの人や友達、先生方と私たちがコミュニケーションをとって欲しいという思いを込めて言ってくれていたのだと思います。また、挨拶をすることによって明るく笑顔あふれる学校にするためにも言ってくれていたのだと思いました。コミュニケーションがうまくいけば、相手の考えや気持ちに共感することができ、明るく、楽しい毎日をおくることができると思います。また、人間関係もよくなりいじめや相手が不快な思いになることも減っていくはずですが、みんながみんなに挨拶できるとは限らないと思います。人みしりだったり、相手と話すことが苦手な人も数多くいると思います。私も最初からあまり話した事のない同じマンションの人に挨拶を試みようと言われても難しいです。まずは、家族、友だち、学校の先生に挨拶をすることを習慣にしていけば、誰とでも自然と挨拶をすることができるようになると思います。ですが、一方が頑張っても挨拶をしても、相手が返してくれなかった場合悲しい気持ちになるし、損した気分になると思います。私も頑張っても同じマンションの人に挨拶をしても答えてくれなかったときや、目をそ

むけて言われたとき、とても悲しい気持ちになりました。挨拶はただ言うだけでなく目を合わせて明るく元気に言うことが大切だと感じました。これらをふまえてもう一回挨拶をしたら、笑顔で返してくれました。自分が少しの変化をつけるだけで笑顔が増えてとても嬉しかったです。二つ目の私たちが簡単にできること、それは思いやりを大切にすることだと思います。思いやりがある人の特徴は相手の気持ちを考えられる人、相手が快適に過ごせるように振るまう人のことです。思いやりの気持ちを持つことで犯罪や差別もなくなっていくと思います。思いやりの気持ちを育てるには、相手の事を考えて物事を決める癖をつけたり、相手の気持ちを尊重したりすることが大切だと思います。ですが、思いやりの気持ちを持ちすぎていつも相手のことを考えて行動してしまうと、苦しくなってしまうこともあると思うので時には自分の気持ちに、正直になることも大切だと思います。

このことから、社会を明るく、笑顔にするためには「挨拶」と「思いやり」の気持ちを持つことが大切だと思います。みんなが意識していけばもっと社会がよくなると思います。私も身の回りの人には、元気に挨拶をすることを心がけ思いやりの気持ちをもっと過ごしていきたいです。